

Daily Report (号外)

～10月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が11月6日に発表した10月の雇用統計は、市場予想を上回る結果となりました。非農業部門雇用者数は、前月比+63.8万人と市場予想(+58.0万人)を上回る結果となりました。前月分は+67.2万人(速報値+66.1万人)に上方修正されました。

業種別では、専門・ビジネスサービス業が前月比+20.8万人(前月+12.2万人)、小売業が同+10.4万人(同+2.3万人)と堅調に推移し、娯楽・接客業は同+27.1万人(同+40.6万人)と前月の高い伸びからは減速したものの、堅調に増加しました。

失業率は6.9%と前月の7.9%から低下し、市場予想(7.6%)を上回る改善となりました。平均時給は前月比+0.1%と上昇しましたが、市場予想+0.2%を下回りました。

市場の反応

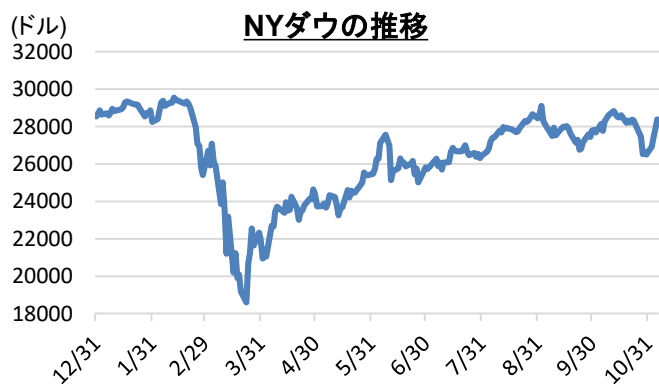
6日の米国株式市場は小幅な値動きとなりました。

米国株式市場は、前日まで4日連続で上昇が続いていたことからの利益確定売りや、米大統領選の結果を見極めたいとの思惑から取引を手控える動きが強まり、NYダウは前日比▲0.24%と小幅下落しました。その他主要指数もS&P500指数が前日比▲0.03%、ナスダック総合指数は同+0.04%と小幅な値動きとなりました。

米国債券市場は、米雇用統計で市場予想を上回る結果となったことを受けて景気後退への懸念が和らぎ、安全資産とされる米長期債の売りが優勢となり、10年国債利回りは前日比+0.06%の0.82%程度で引けました。

米ドル/円は、米大統領選でバイデン氏がペンシルベニア州でのリードを拡大し、当選に必要な選挙人270人を獲得するとの見方からドルを売る動きが広がり、前日比20銭程度の円高・ドル安で取引を終えました。

原油先物市場は、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大から原油需要が落ち込むとの懸念が高まったことから、WTI先物12月限は前日比▲4.25%と下落しました。



(期間)2019/12/31～2020/11/6 (出所)Bloomberg



評価・今後の見通し

10月の雇用情勢は引続き回復傾向にあることが確認できましたが、米国では足元で1日の新型コロナウイルス新規感染者数が12万人を超えるなど感染拡大が加速していること、追加経済対策の成立が遅れていること等を踏まえると、このまま順調に雇用が回復していくとの見方は立てにくい状況にあります。

評価・今後の見通し

FRBのパウエル議長も5日、FOMC後の記者会見で、経済成長のペースは緩慢、労働市場の回復は途上で目指すゴールまでは長い道のりであることを指摘しました。また足元の感染はより広範囲で拡大していることをリスクとして捉えている旨を発言しました。今後の感染拡大状況によっては、雇用情勢の回復ペースが一段と鈍化、または一時的に悪化する可能性もある点には注意を要するとみられます。

一方、7日には主要メディアがバイデン氏の獲得選挙人が270人を超えることが確実になったと報じ、同氏は同日勝利宣言を行いました。これに対しトランプ大統領は敗北宣言をせず、法廷闘争に持ち込む姿勢を明示しています。また上院選での過半数獲得の最終的な決着は来年1月になる見込みですが、こちらは各候補の得票率に基づくと共和党が過半数を制する可能性が高いとみられています。

バイデン氏は国際協調路線を掲げていることから、制裁関税の緩和などにより経済の活性化が期待できるうえ、上院を共和党が制することにより、規制強化や増税といった政策は回避されるとの見方から、株価は堅調な展開となっています。米大統領選、上院選とも最終決着が先送りされることでリスクは残存するものの、相場は既にバイデン大統領と上院での共和党優勢を織り込んで動いており、今回のバイデン氏の勝利報道による市場への影響は限定的と考えられます。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	20/5	20/6	20/7	20/8	20/9	20/10
非農業部門	272.5	478.1	176.1	149.3	67.2	63.8
鉱工業部門	67.6	48.5	6.6	5.3	9.7	12.3
建設業	45.6	15.9	3.1	2.4	3.5	8.4
製造業	24.0	33.3	4.1	3.0	6.0	3.8
資源・鉱業	-2.0	-0.7	-0.6	-0.1	0.2	0.1
サービス部門	256.0	424.4	146.0	97.5	79.5	78.3
卸売業	2.3	5.2	-1.9	1.2	1.9	0.6
小売業	38.6	85.8	25.4	26.1	2.3	10.4
輸送・倉庫業	-2.5	8.7	4.8	8.6	4.0	6.3
情報	-4.0	0.7	-1.1	2.3	4.7	-0.3
金融	1.9	2.0	1.5	2.8	3.7	3.1
専門・ビジネスサービス業	16.0	31.1	16.2	18.4	12.2	20.8
人材派遣業	4.7	14.5	12.6	10.2	2.2	10.9
教育・保険業	38.8	56.7	21.9	17.5	4.9	5.7
娯楽・接客業	140.5	197.9	63.3	13.8	40.6	27.1
その他	19.7	21.8	3.4	-3.3	3.0	-6.3
政府部門	-51.1	5.2	23.5	46.5	-22.0	-26.8
失業率(%)	13.3	11.1	10.2	8.4	7.9	6.9
平均時給(前年比、%)	6.6	4.9	4.6	4.6	4.6	4.5

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

